

# 一橋大学大学院経済学研究科

## 修士課程入学試験 よくある質問(Q&A)

### ○出願書類

Q: 出願に先立って、事前に指導を希望する教員と連絡をとる必要はあるでしょうか。

A: 特に必要ありません。

Q: 募集要項は研究科 HP からダウンロードできますが、志願票や学業評価書はダウンロードした書類を印刷して使うことはできますか？

A: 可能です。印刷して使う場合は A4 の普通紙に印刷してください。

Q: 「志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。」と書いてありますが、PC やワープロで作成したものを印刷して提出することは可能ですか？

A: 可能です。ただし、募集要項に添付されている書類(志願票、写真票、学業評価書等)の書式は変更しないでください。

Q: 出願書類を英語で作成してもいいですか？

A: 日本語で作成するのが望ましいですが、英語でも構いません。

Q: 入学志願票の「研究分野」の欄の書き方がわかりません。

A: 自分が研究を行うにあたって最も関連性のある科目は何か、という観点から該当する分野を選択してください。

Q: 出願後に住所を変更する予定です。出願書類には、どのように住所を書けばいいですか？

A: 出願後にまず受験票を送り、さらに合格者には合格通知と入学手続書類を送ります。そのため、それぞれの送付時期に書類を受け取り可能な住所を記載していただく必要があります。

受験票は、出願書類に不備がなければ、筆記試験日(特別選抜入試の場合は口述試験対象者発表日)の1週間前までに送付されます。受験票送付用の封筒には、その時期に受験票を確実に受け取ることができる住所および受取人名を記入してください。

合格通知および入学手続書類については、以下の時期に発送されます。該当する時期に受け取り可能な住所を志願票の「合格通知・入学手続書類送付先」に記載してください。

入試種別	合格通知送付時期	入学手続書類送付時期
修士課程特別選抜入試	7月下旬頃	2月下旬頃
修士課程一般入試	9月下旬頃	
修士課程外国人特別選考	2月下旬頃	

Q: 来年3月卒業見込みですが、在籍している大学では、出願時までには正式な「卒業見込証明書」が発行されません。

A: 正式な「卒業見込証明書」が発行できないこと、および来年3月に卒業見込みであることを明記した書類を、学科主任の先生や事務室の責任者など、責任のある立場の方に作成してもらってください。

Q: 他大学の大学院で修士号の学位を取得しました。卒業証明書と成績証明書は学部時代のものと大学院時代のものの、どちらを提出すればいいですか。

A: 両方提出してください。

Q: 母国の出身大学では卒業証明書の原本を1通しか発行しない制度を取っています。どうすればいいですか？

A: 出身大学に卒業証明書の原本に代わる証明書の発行を依頼してください。証明書については、卒業証明書の原本と形式が異なっても構いません。なお、証明書が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、必ず日本語または英語の翻訳を添付してください。

大学からの証明書発行が不可能な場合のみ、原本、返却用の封筒・切手および返却希望の旨記載した書面(様式自由)を提出してください。証明書の内容を確認後に原本を返却します。ただし、返却には時間を要しますのでご注意ください。

Q: 研究計画書が2ページ以上になります。クリップでまとめればいいですか？

A: 左上をステープラー(ホチキス)でとめて、提出してください。研究計画書の1枚目には志願者の氏名を忘れずに記入してください。

Q: 大学卒業後かなりの年数が経っており、出身大学には学業評価書を依頼できるような教員がいません。だれに学業評価書を依頼すればいいでしょうか。

A: 会社の上司や学会等で知り合った研究者、他大学の教員など、現在の志願者の

学力や研究能力をよく知っている人に依頼してください。

Q: 学業評価書は所定の用紙でなければいけませんか。

A: できる限り所定の用紙を使ってください。ただし、それが困難な場合には、評価者の氏名、所属、肩書き、署名、および日付があれば、その他の一般的な様式のものも認めます。ただし、その場合も、以前に書かれたものではなく、今年度の募集要項発表後に作成されたものを提出してください。

Q: 検定料の支払いに ATM を使いたいのですが、窓口で払い込まなければいけませんか？

A: 出願書類として提出する必要があるのは明細書の写しです。明細書が発行されるのであれば、ATM と窓口のどちらを利用しても問題ありません。

Q: 出願書類が届いたか不安です。届いたかどうか確認できますか？

A: 書留郵便には郵便局が提供する郵便追跡サービスが付帯しています。出願書類の送付には書留郵便をご利用ください。

## ○TOEFL

Q: 出願可能な TOEFL スコアの最低点は何点ですか？

A: スコアの点数は特に指定していません。

Q: TOEFL スコアが ETS から大学に届いているか不安です。確認できますか？

A: TOEFL スコアの到着状況についてはお答えできません。

## ○試験全般

Q: 出題の傾向について教えてください。

A: 筆記試験、口述試験の内容に関する質問にはお答えできません。筆記試験の過去問題は以下の HP に掲載されています。

<http://www.econ.hit-u.ac.jp/~koho/jpn/examination/graduate/kakomon.html>

Q: 7月に実施される特別選抜入試は他大学の学生でも受験できますか？

A: 出願資格を満たしていれば、受験できます。出願資格については募集要項を参照してください。

Q: 7月の特別選抜入試と9月の入試の両方に出願することはできますか？

A: それぞれの入試の出願資格を満たしていれば、両方の入試に出願することは可能です。出願資格については募集要項を参照してください。

Q: 試験の結果はWebで見られますか？

A: 合格発表の日の13時(外国人特別選考の最終合格者発表は13時30分)から17時まで、合格者の受験番号の写しを経済学研究科 HP 上に掲載する予定です。

Q: 入試の不合格者を研究生として受け入れる制度はありますか。

A: ありません。

Q: 試験は英語で回答できますか？

A: 筆記試験では、修士外国人特別選考入試の日本語の試験を除くすべての試験で英語による回答を認めています。なお、筆記試験の出題言語は日本語または英語です。

口述試験は通常は日本語で行いますが、修士外国人特別選考で志願票に「英語による口述試験を希望する」と書いた受験生については希望を考慮します。ただし、審査員の判断によっては、日本語で口述試験を行う場合もあります。

Q: 入学後、英語のみで修士学位が取得できますか？

A: 英語のみでの修士学位取得はできません。英語で行われる授業科目もありますが、大半の授業科目は日本語で行われます。

Q: 他大学出身者でも合格の可能性はありますか。

A: 例年、合格者の多くが他大学の出身者です。

Q: 大学院入試のパンフレットはありますか。

A: パンフレットは作成していません。必要な情報はすべて経済学研究科 HP に記載されています。

Q: 専修コースで出願しましたが、研究者養成コースに変更できますか？

A: 出願後のコースの変更は認められません。ただし、研究者養成コースおよび専修コースのいずれに所属した場合でも、博士後期課程への進学要件を満たせば、博士

後期課程への進学は可能です。博士後期課程への進学要件は、両コース共に同一です。